

証券コード:9319

2018年3月期 決算説明会

2018年5月31日



未来を預かる 未来を運ぶ
株式会社 中央倉庫

<http://www.chuosoko.co.jp/>

目次

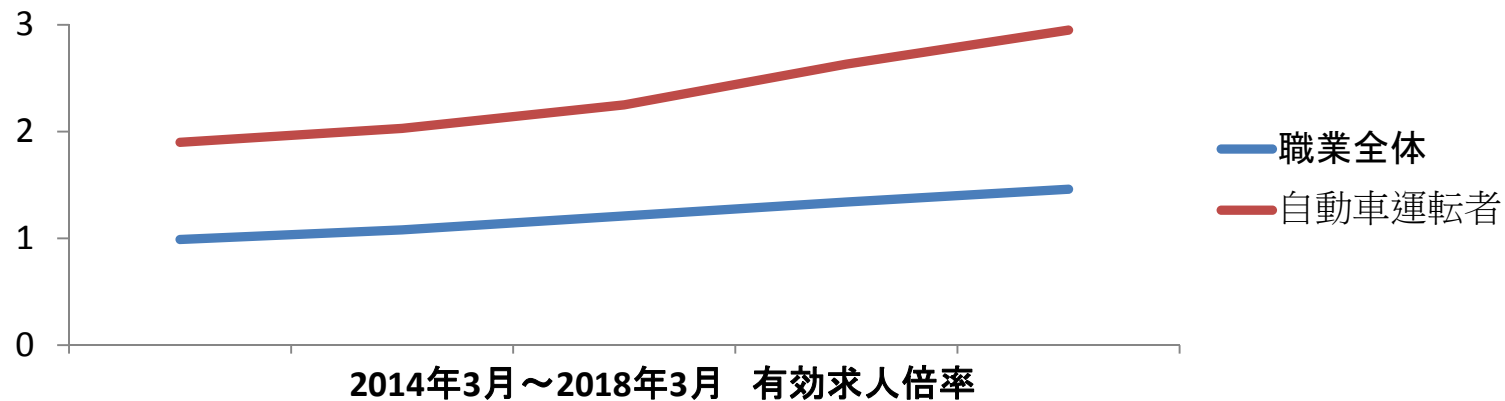
1. 物流業界の経営環境
2. 当社取扱高推移
3. 当期の実績
4. 2019年3月期の見通し
～中期経営計画の達成に向けて～
5. トピックス
6. コーポレートガバナンスに関する取組み
7. 株式情報

1. 物流業界の経営環境

- 輸出入貨物が好調
- 人手不足、燃料価格の上昇

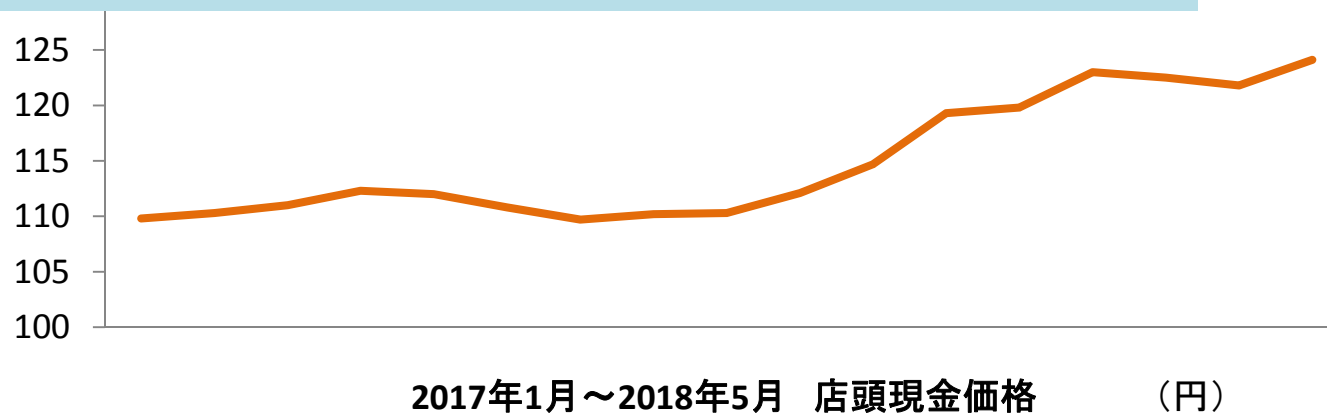
1. 物流業界の経営環境

職業別有効求人倍率の推移



出典：厚生労働省 職業安定業務統計の数値よりグラフを作成

軽油価格の推移 全国平均（消費税込/1リットル当たり）



出典：ガソリン・灯油価格情報NAVI記載の数値よりグラフを作成

1. 物流業界の経営環境

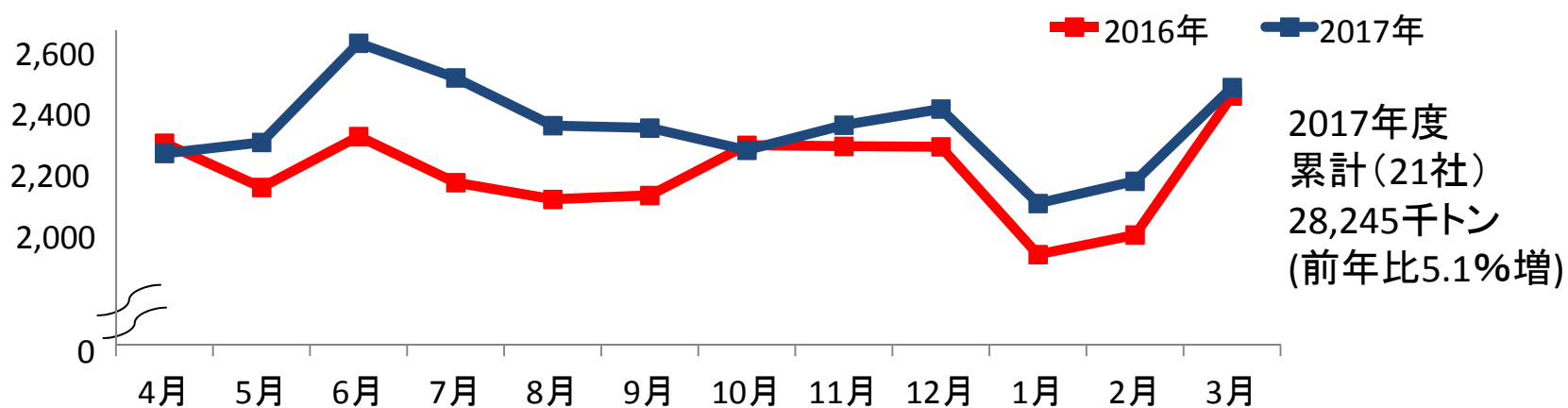
国土交通省普通営業倉庫21社統計(入出庫高)

(千トン)

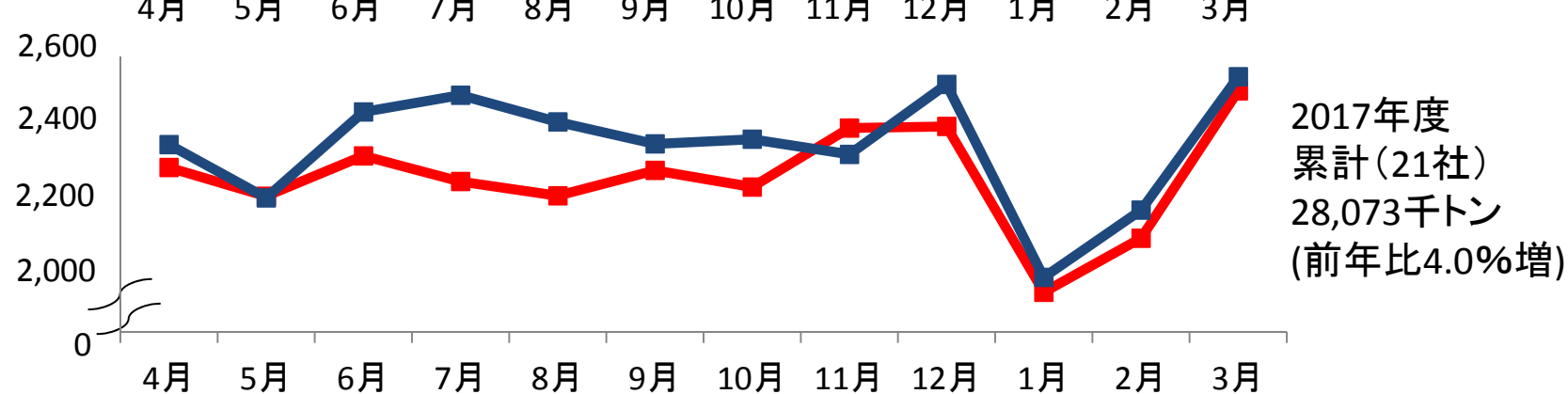
主要21社

日本通運、三菱倉庫、三井倉庫、住友倉庫、澁澤倉庫、安田倉庫、杉村倉庫、東陽倉庫、ヤマタネ、東洋埠頭、ケイヒン、蔦井倉庫、仙台運輸倉庫、諏訪倉庫、森本倉庫、日本トランスシティ、新生倉庫運輸、高松臨海倉庫、福岡倉庫、琉球物流、中央倉庫

入庫高



出庫高

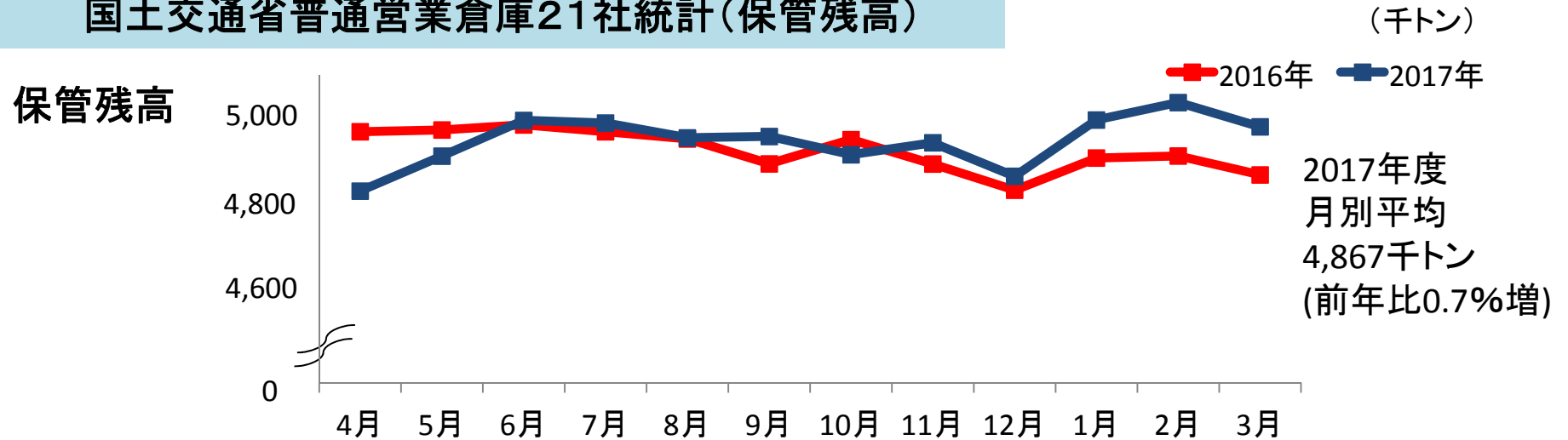


出典：国土交通省普通営業倉庫21社統計2018年3月より

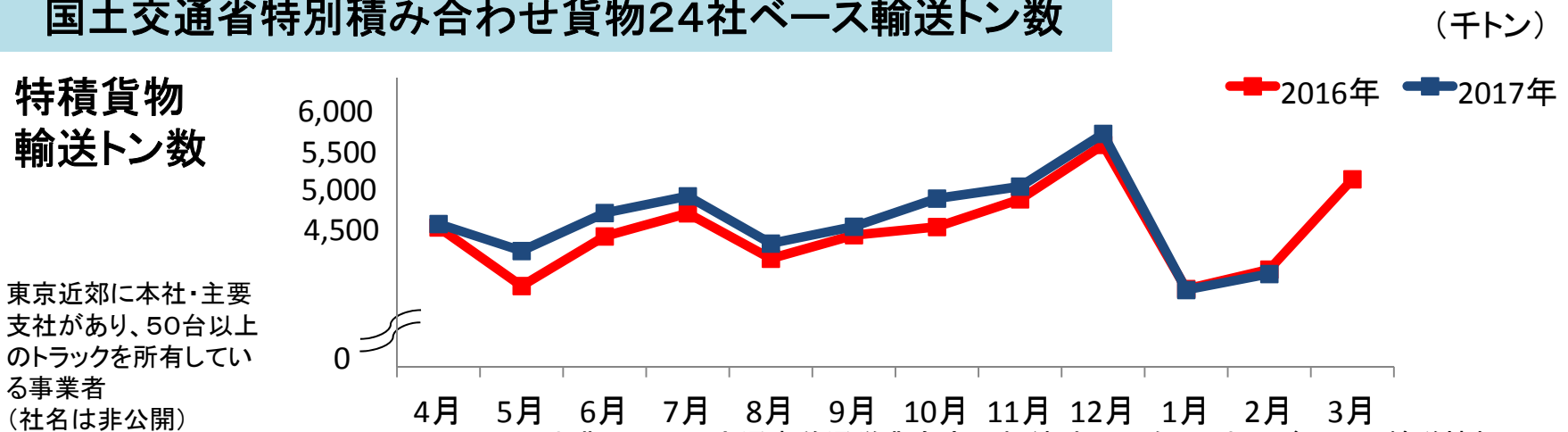
～未来を預かる、未来を運ぶ～

1. 物流業界の経営環境

国土交通省普通営業倉庫21社統計(保管残高)



国土交通省特別積み合わせ貨物24社ベース輸送トン数



出典：国土交通省普通営業倉庫21社統計2018年2月およびトラック輸送情報より

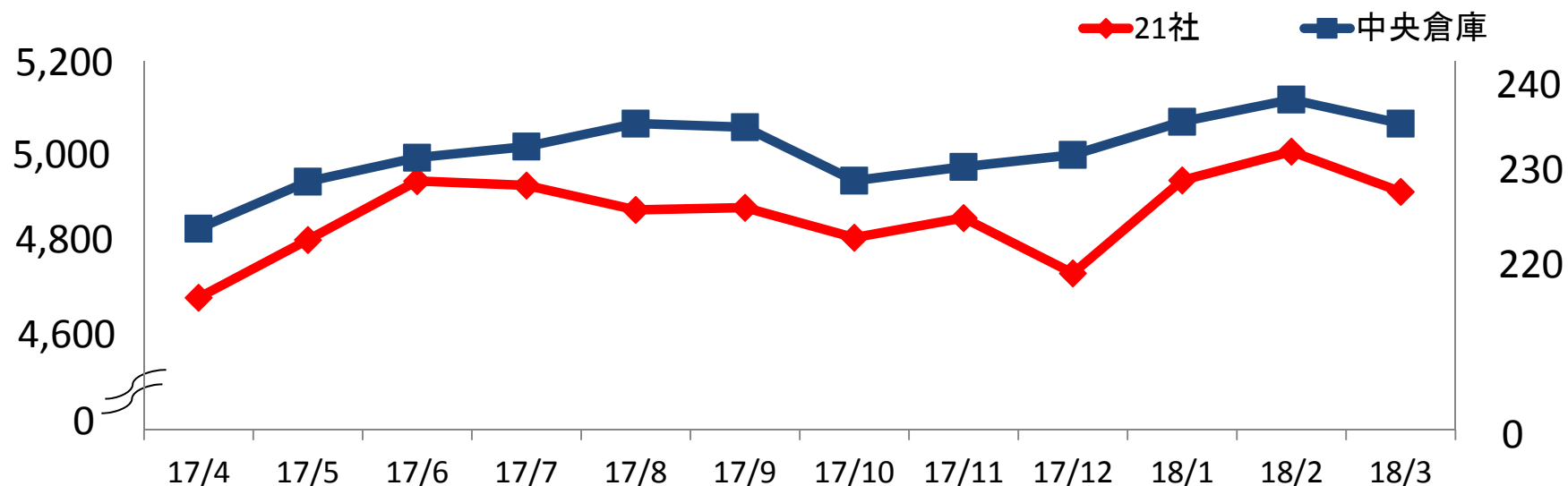
2. 当社取扱高推移

2. 当社取扱高推移

倉庫業 保管残高

国土交通省普通営業倉庫21社統計内の当社シェア

(千トン)



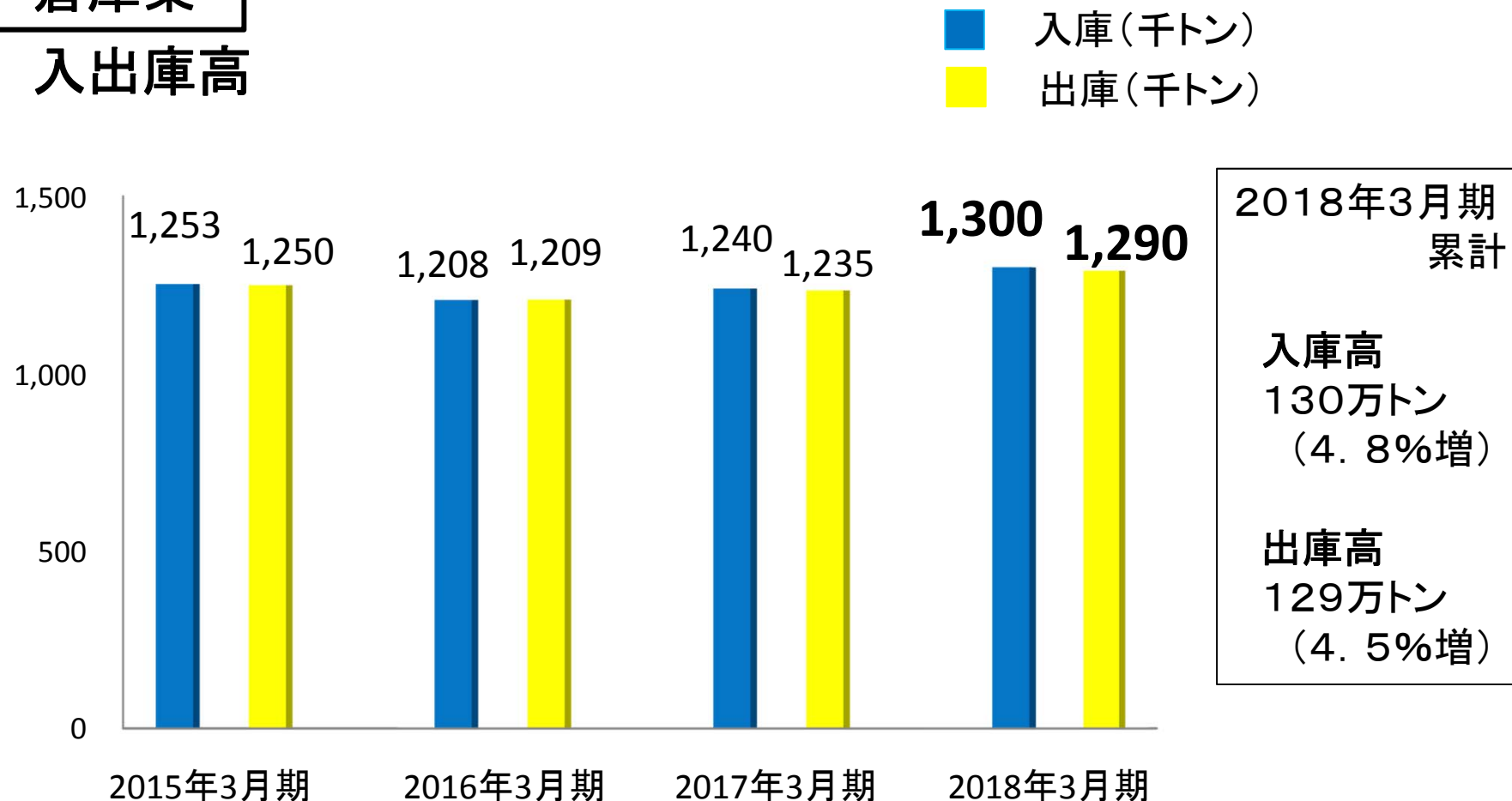
	17/4	17/5	17/6	17/7	17/8	17/9	17/10	17/11	17/12	18/1	18/2	18/3	月別平均前年比
21社	4686.1	4811.4	4939.2	4929.7	4876.6	4881.5	4816.3	4859.0	4739.0	4940.6	5003.1	4915.9	0.7%増
中央倉庫	221.8	226.9	229.5	230.7	233.2	232.8	227.0	228.5	229.8	233.4	235.8	233.2	4.2%増
シェア	4.73	4.72	4.65	4.68	4.78	4.77	4.71	4.70	4.85	4.72	4.71	4.74	—

～未来を預かる、未来を運ぶ～

2. 当社取扱高推移

倉庫業

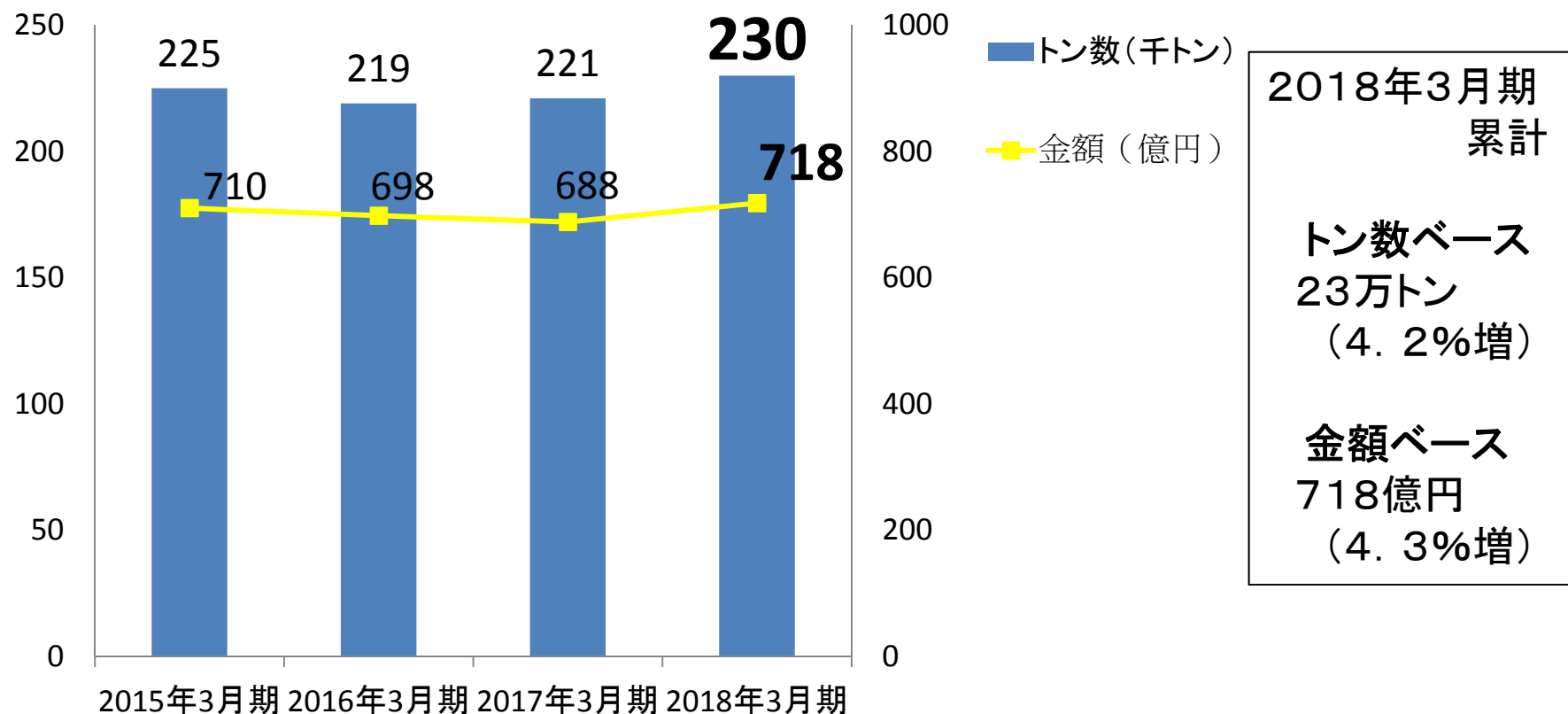
入出庫高



2. 当社取扱高推移

倉庫業

月末平均保管残高

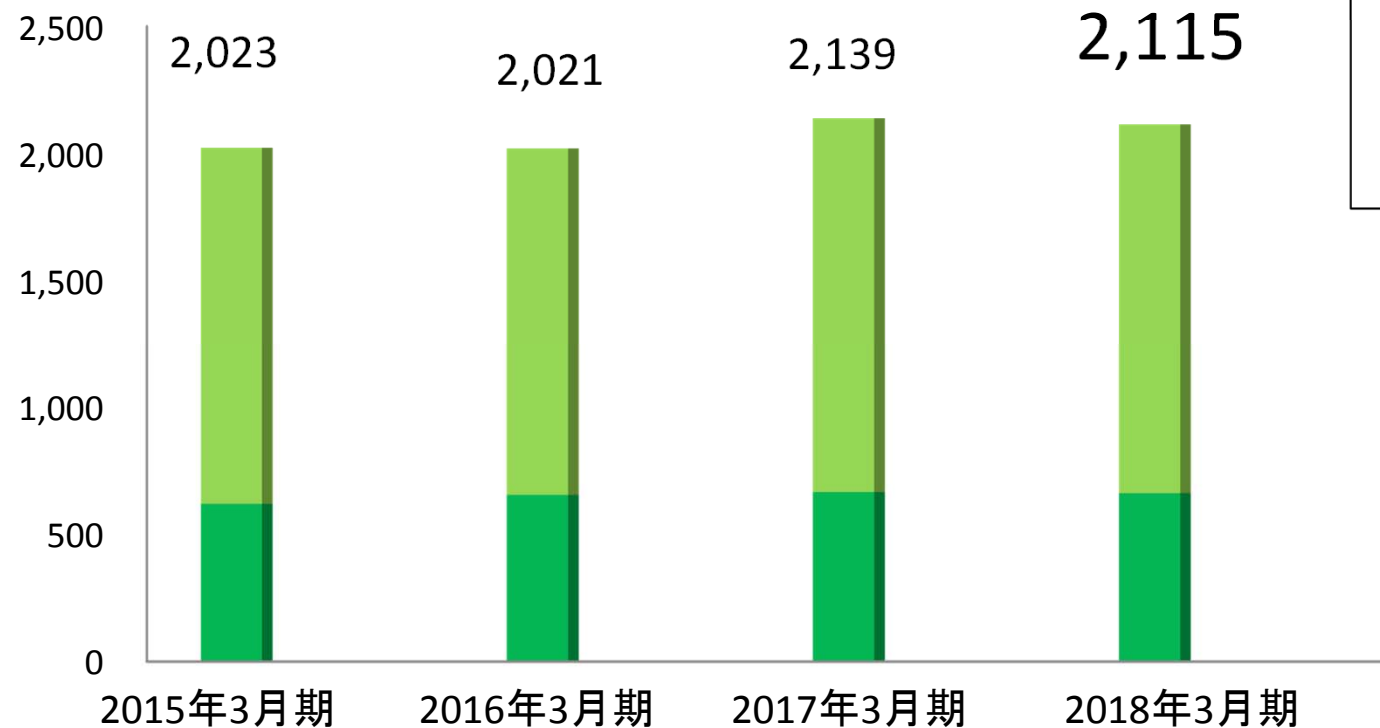


～未来を預かる、未来を運ぶ～

2. 当社取扱高推移

運送業

運送取扱数量 (千トン)



2018年3月期
累計

211万5千トン
(1.1%減)

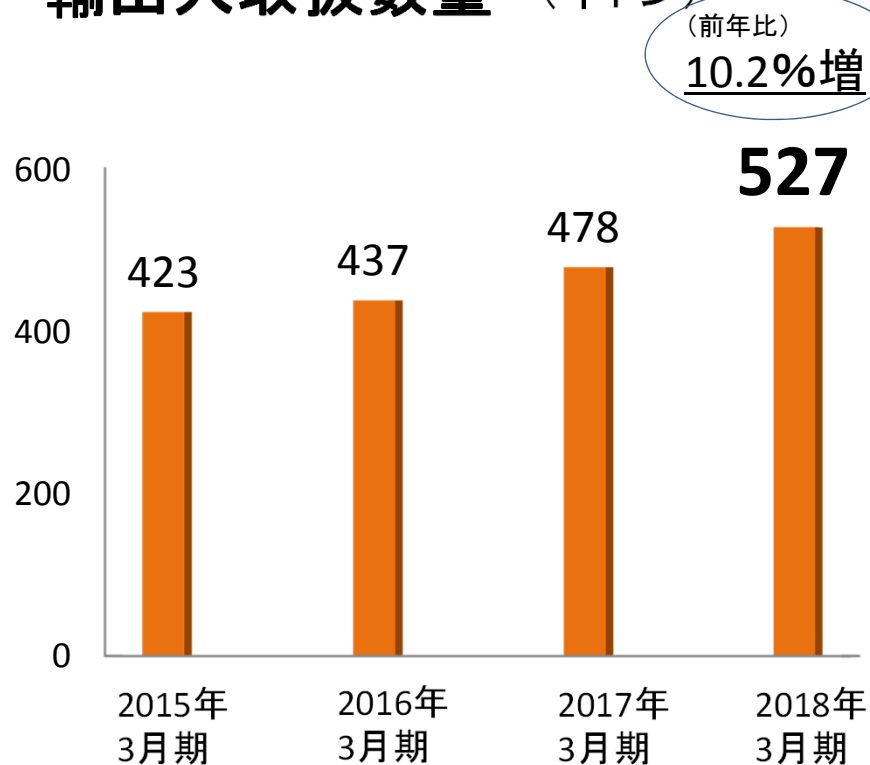
■ 保管外貨物

■ 保管貨物

2. 当社取扱高推移

国際貨物取扱業

輸出入取扱数量 (千トン)







梱包取扱数量 (千m³)



3. 当期の実績

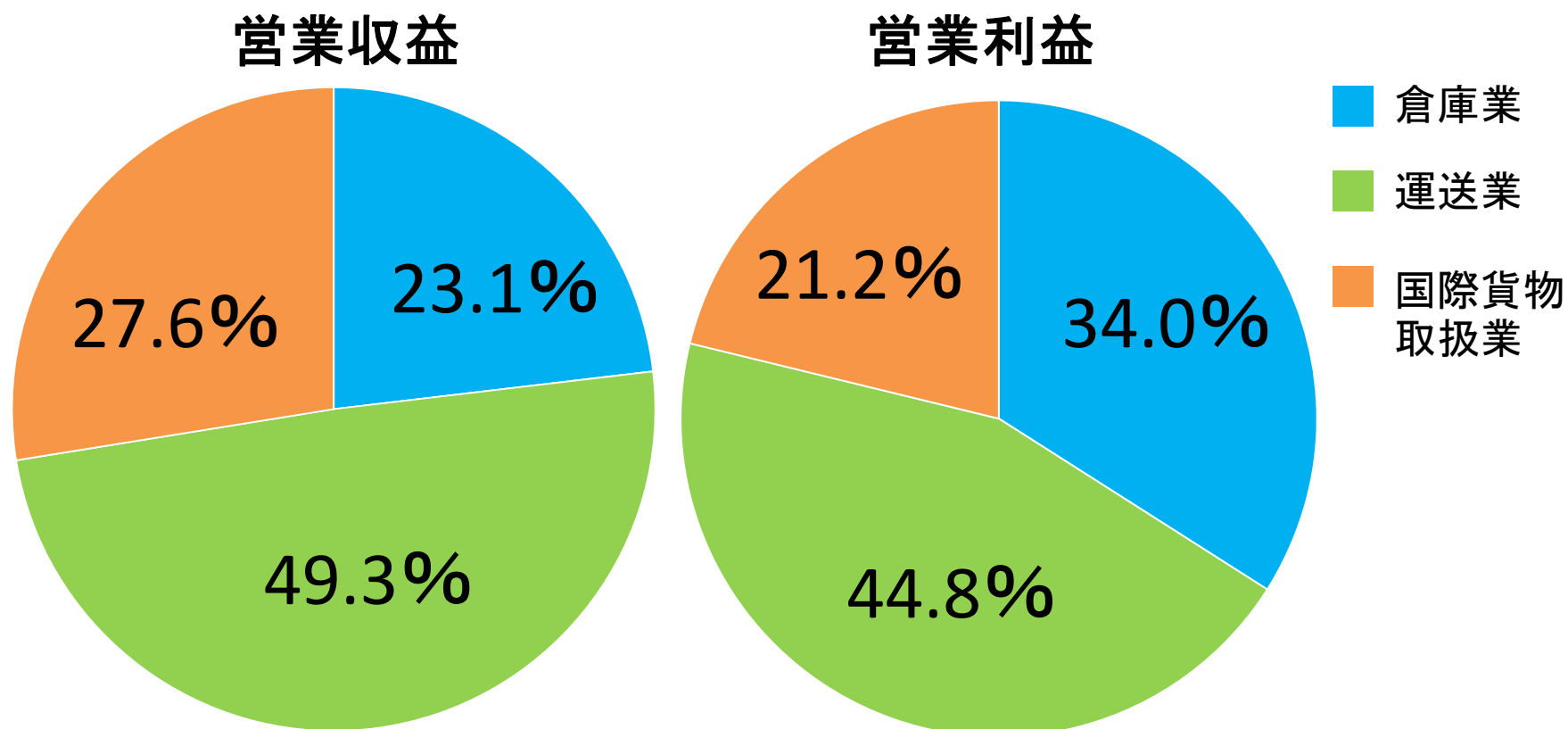
3. 当期の実績 《連結業績ハイライト》

単位：百万円

	2018年3月期	前年同期比(%)	予想比(%)
営業収益	26,043	5.4 	3.3 
営業利益	1,616	2.1 	△0.2 
経常利益	1,791	2.8 	0.6 
当期純利益	1,254	10.6 	8.1 

3. 当期の実績

セグメント別営業収益・営業利益内訳



※営業収益はセグメント間振替調整前(外部顧客に対する営業収益)にて算出しております。

3. 当期の実績 《セグメント別概況》

倉庫業

単位：百万円

		2017年 3月期	2018年 3月期	増減	
倉庫業	営業収益	5,944	6,125	181	3.1%
	営業利益	812	780	△32	△4.0%

増収要因
入在庫高及び保管残高ともに増加

減益要因
営業費用が増加

※営業収益および営業利益はセグメント間振替調整後の金額であります。

3. 当期の実績 《セグメント別概況》

運送業

単位：百万円

		2017年 3月期	2018年 3月期	増減	
運送業	営業収益	12,631	12,878	247	2.0%
	営業利益	1,013	1,027	14	1.4%

増収・増益要因
適正料金の收受の取組み

※営業収益および営業利益はセグメント間振替調整後の金額であります。

3. 当期の実績 《セグメント別概況》

国際貨物取扱業

単位：百万円

		2017年 3月期	2018年 3月期	増減	
国際貨物 取扱業	営業収益	6,260	7,173	913	14.6%
	営業利益	431	486	55	12.8%

増収・増益要因
梱包業の内製化、高付加価値化に注力

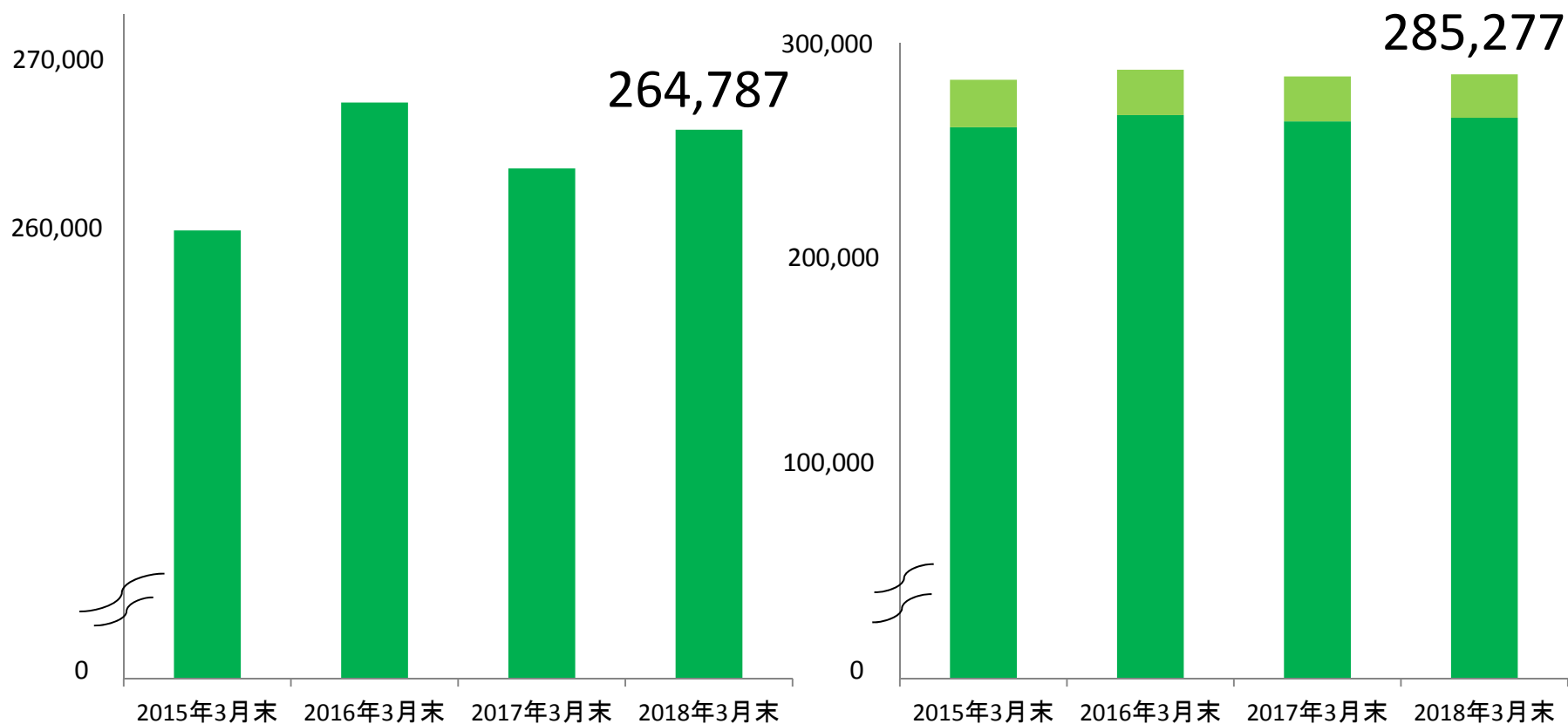
※営業収益および営業利益はセグメント間振替調整後の金額であります。

3. 当期の実績 《当社所管面積推移》

倉庫業所管面積 (m²)
(営業倉庫登録面積)

全所管面積 (m²)

貸庫面積
登録面積



3. 当期の実績 《連結財政状態》

単位：百万円	2017年3月期	2018年3月期	増減
現預金	8,751	8,326	△424
営業未収金等	4,070	4,476	405
その他流動資産	382	442	59
有形・無形固定資産	23,061	23,746	685
投資その他資産	8,965	10,399	1,433
総資産	45,231	47,391	2,159
営業未払金等	1,443	1,506	63
借入金	4,118	3,812	△306
その他	2,964	3,373	409
負債合計	8,526	8,692	166
利益剰余金	28,768	29,594	826
その他	7,937	9,104	1,166
純資産	36,705	38,698	1,993

■ 増減内容・要因

・総資産 増加

→受取手形・営業未収入金、固定資産の建設仮勘定、投資有価証券が増加

・負債 増加

→その他に含まれる設備関係支払手形、固定負債の繰延税金負債が増加

・純資産 増加

→その他有価証券評価差額金、利益剰余金が増加

3. 当期の実績 《キャッシュ・フローの状況》

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	2017年3月期	2018年3月期	現金の増減
現金および現金同等物	8,751	8,326	△425
営業キャッシュ・フロー	2,345	2,093	△252
投資キャッシュ・フロー	△899	△1,816	△917
財務キャッシュ・フロー	△862	△770	92

3. 当期の実績 《設備投資の状況》






設備投資の状況

単位:百万円

		2017年 3月期	2018年 3月期	2019年3月期 計画
設備投資額		995	2,055	1,392
内 訳	新設・増設	193	472	400
	改修等	170	1,187	658
	車両更新	283	182	169
	その他	349	214	165

3. 当期の実績 《財務指標》

財務指標

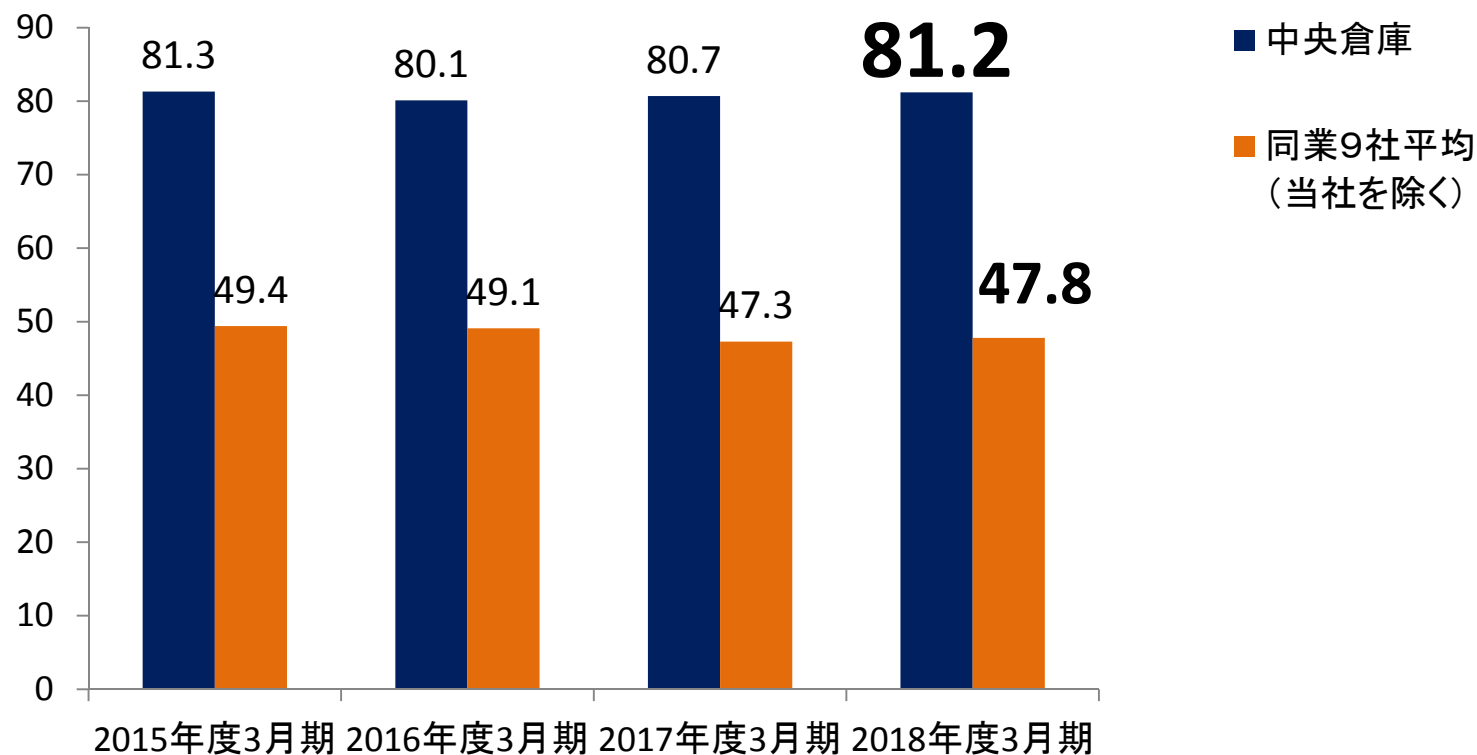
	2017年3月期	2018年3月期	増減
自己資本比率(%)	80.7	81.2	0.5 
1株当たり純資産(円)	1,919	2,023	104 
ROE(%)	3.2	3.3	0.1 
ROA(%)	3.9	3.8	△0.1 
ROIC(%)	4.3	4.2	△0.1 
営業利益率(%)	6.4	6.2	△0.2 

※ROIC=(営業利益+受取利息・配当)÷(純資産+有利子負債)

3. 当期の実績 《財務指標》

財務指標の同業上場主要9社との比較

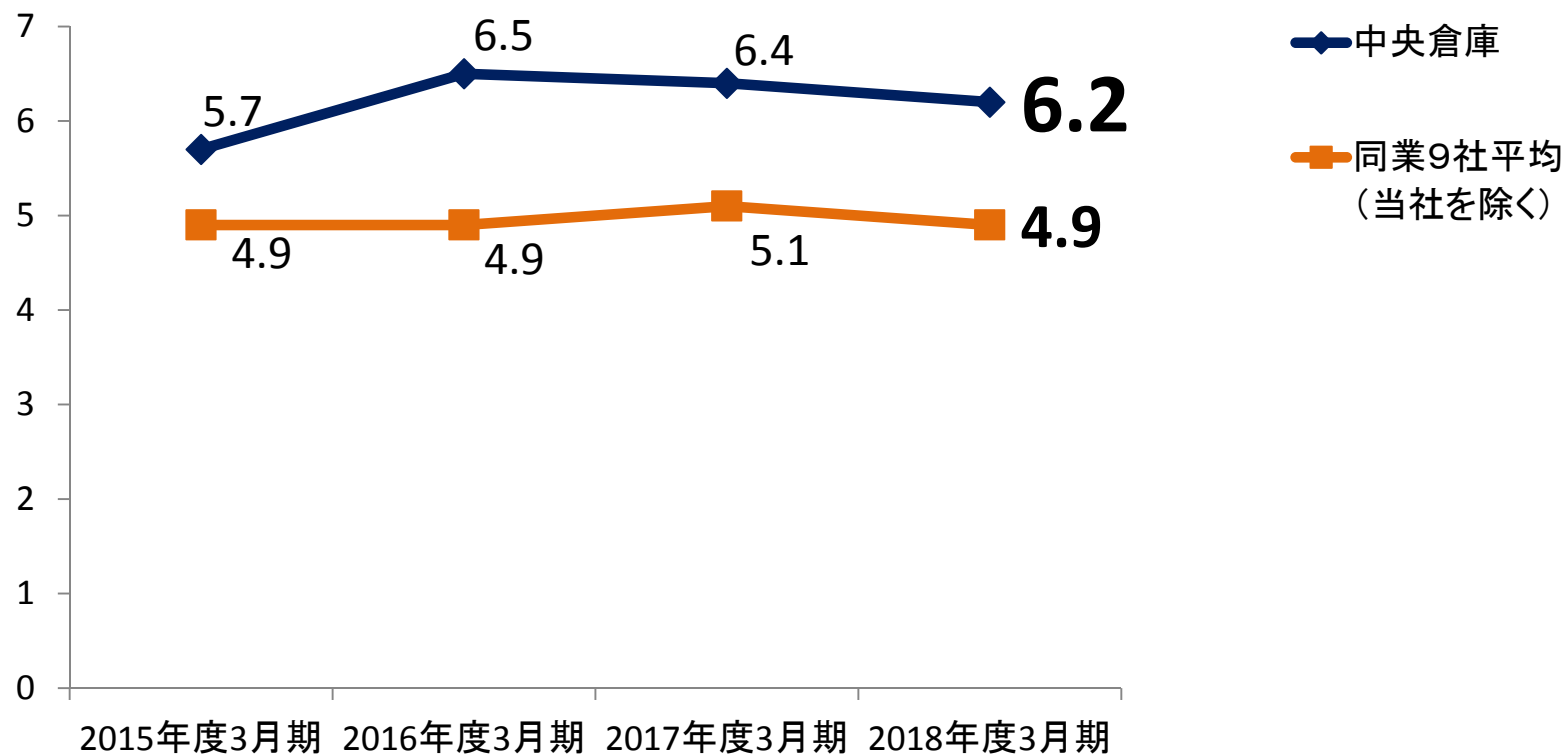
自己資本比率(%)



3. 当期の実績 《財務指標》

財務指標の同業上場主要9社との比較

営業利益率(%)



3. 当期の実績 《配当実績・予定》

決算年月	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
中間(円)	10.00	10.00	10.00	10.00
期末(円)	12.50	12.50	12.50	14.50
通期(円)	22.50	22.50	22.50	24.50
配当性向(連結) (%)	47.6	31.4	37.7	37.1
DOE(単体) (%)	1.3	1.3	1.2	1.3

4. 2019年3月期の見通し (中期経営計画の達成に向けて)

4. 2019年3月期の見通し

単位：百万円

連結ベース	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期 業績予想	前期比	
						金額	比率 (%)
営業収益	23,554	23,875	24,707	26,043	26,500	457	1.8
営業利益	1,339	1,543	1,583	1,616	1,700	84	5.1
経常利益	1,479	1,700	1,743	1,791	1,850	59	3.3
当期純利益	899	1,363	1,134	1,254	1,200	△54	△4.4

4. 今年度の目標達成に向けて(=中期経営計画の達成)

環境

- ◆ 深刻な人手不足
- ◆ スペース不足・車両不足（貨物の動きは好調に推移）
- ◆ 燃料費の高騰
- ◆ 労務環境の変化
- ◆ お客様の意識（物流）の変化

当社の基本的な考え方

安定かつ持続的な成長

- 職員がやりがいを感じる職場づくり
- 提案や業務品質に対するお客様からの支持
- 結果としてROIC・ROEの向上を目指す

4. 今年度の目標達成に向けて(=中期経営計画の達成)

目標達成への施策

- ◆ 提案営業力の一層の強化
 - ⇒ 本部営業人員の増加等
 - ⇒ 特に、運輸部門の人材・施策の強化
- ◆ 貨物・荷主のポートフォリオの改善
 - ⇒ 収益性の高い(人手の掛らない)貨物へのシフト
 - ⇒ 様々な条件交渉や料金適正化の推進
- ◆ 積極的な設備投資の検討
 - ⇒ 好調な荷動きへの対応
 - ⇒ お客様の高度化する保管品質への対応
- ◆ 既存資産の積極的な有効活用

4. 今年度の目標達成に向けて(=中期経営計画の達成)

経営課題を解決させる取組み

- ◆ 当社としての「働き方改革」の推進
 - ※働き方改革＝「働きやすい職場創り」＋「生産性の向上」
 - ⇒ 人事制度の見直しや業務効率化の為の組織の見直し
 - ⇒ 女性の活用の推進
 - ⇒ システム化の推進による効率性の向上(新組織の立上げ)
- ◆ 採用活動の一層の強化・改善
 - ⇒ 特に、ドライバー、倉庫内作業要員
- ◆ 持続的成長を支える人材教育
 - ⇒ 現場の技能承継、営業人材・経営人材の質的向上
- ◆ ガバナンス強化への取組みの継続
 - ⇒ ガバナンス・コードへの対応、取締役会活性化

5. トピックス

5. トピックス

滋賀PD梱包事業所の竣工・稼動



構造 : 鉄骨造・平屋建
建築面積 : 3,110m² (約940坪)
製函場 : 624m² (約190坪)
梱包場 : 764m² (約230坪)
保管スペース : 933m² (約280坪)



～未来を預かる、未来を運ぶ～

5. トピックス

京都支店京都PDセンター A号B号倉庫 竣工

京都PDセンター:京滋バイパス「久御山IC」 } 5kmの区域内
第2京阪道路「久御山南IC」 }

構造 : RCS構法
地上3階建倉庫

建築面積 : 2,847㎡
(861坪)

倉庫面積 : 5,527㎡
(約1,670坪)

エレベーター 3基
(積載荷重3t)

ドックレベラー 2台



6. コーポレートガバナンス に関する取組み

6. コーポレートガバナンスに関する取組み

- 株主総会招集通知の早期発送と発送前開示
- 取締役会の実効性向上に向けた運営の見直し
- 取締役会評価の実施
- 次期CEOの選任基準の策定等

7. 株式情報

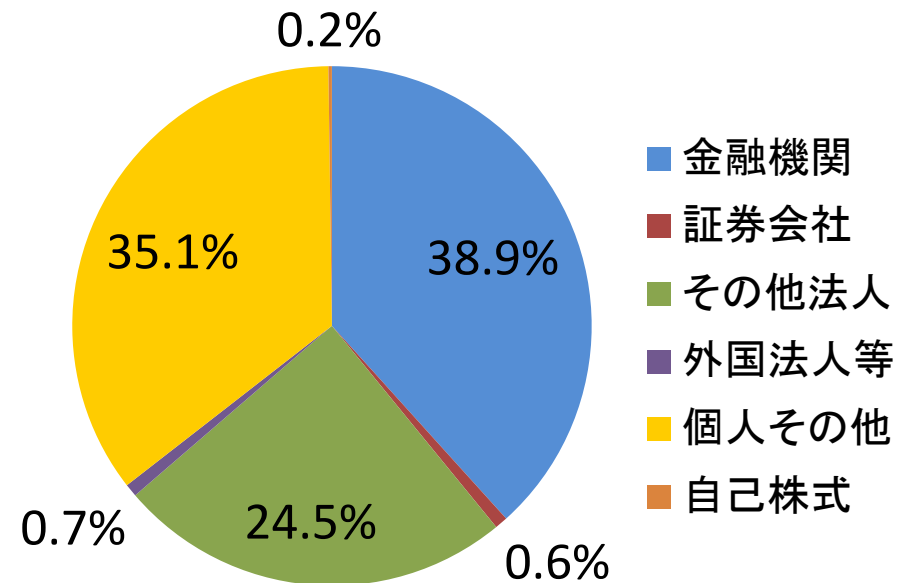
7. 株式情報

所有者別構成

(株式数比率)

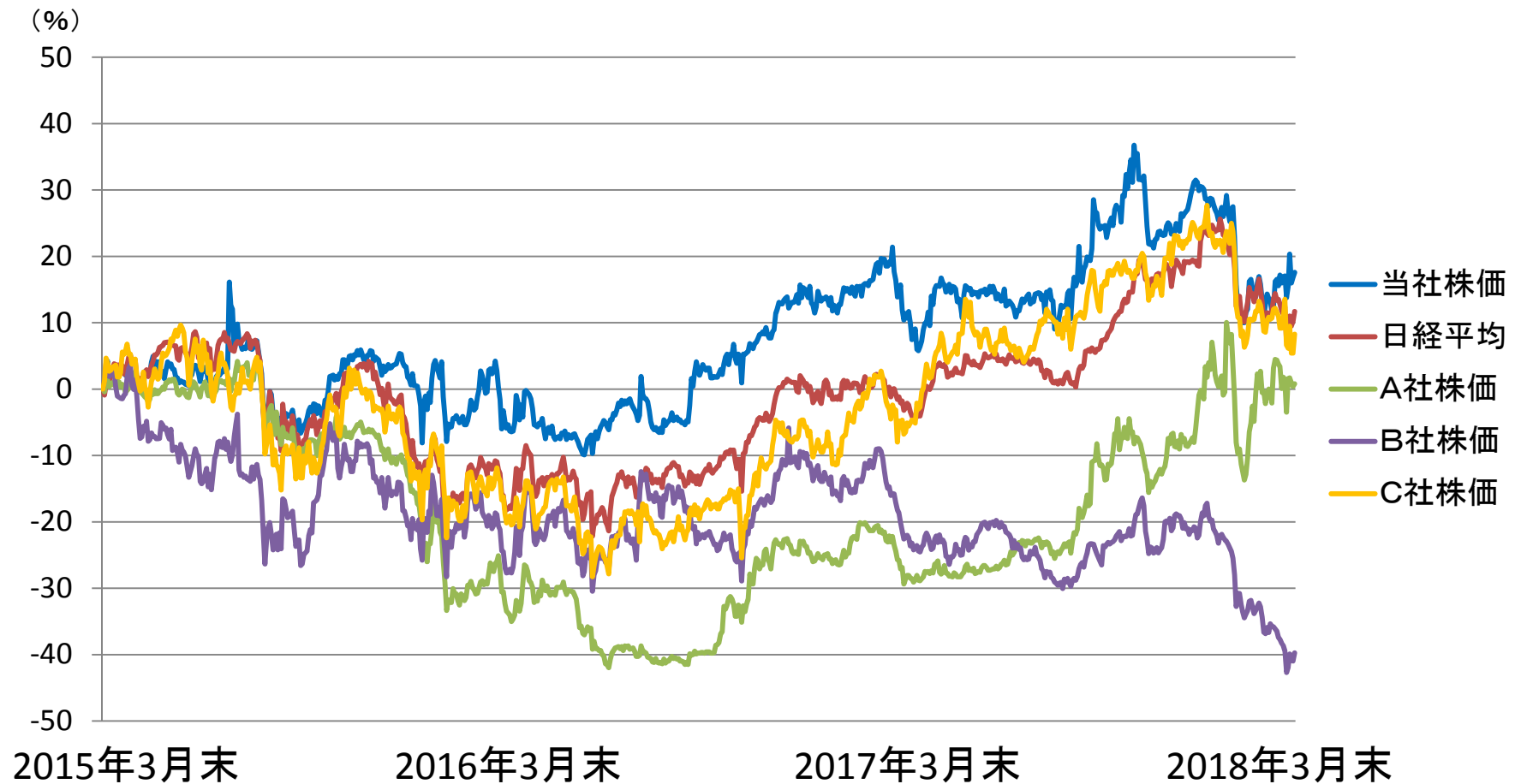
	2017年 3月末	2018年 3月末
金融機関	38.3%	38.9%
証券会社	0.8%	0.6%
その他法人	24.6%	24.5%
外国法人等	0.8%	0.7%
個人その他	35.3%	35.1%
自己株式	0.2%	0.2%
計	100%	100%

2018年3月末 所有者別構成比



7. 株式情報

当社株価と日経平均・同業他社株価とのパフォーマンス比較



証券コード:9319

本日はご多忙のところご来臨賜り
ありがとうございました。

本資料に含まれる将来の予測に関する事項は、本資料作成時点において入手可能な情報による当社の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。従って、実際の業績等はさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。また、本資料は情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。



未来を預かる 未来を運ぶ
株式会社 中央倉庫

<http://www.chuosoko.co.jp/>